

3 巨樹・巨木

(杉野)

あきる野市には、東京都の指定文化財や市の保存樹木に指定されている樹木と大径木（古木、大木）が多くあり、木が大木に育つ素晴らしい環境があると考えられます。

森林レンジャーあきる野の日々の活動において、山に分け入り、普段あまり人が立ち入らない林内で巨木（大径木）を調査した結果、人々の生活に近いところでも、保存樹木や文化財に指定されていない巨木を28本確認しました。

残念なことに、小宮地区の光明山山頂のスギ群落（樹齢200～300年）が落雷により頂部欠損や枯損していたり、深沢の堀田尾根のモミの大木のように集団枯損（理由は不明）している場所も見られましたが、市域では木が育つポテンシャルは大きなものがあると推察できます。



光明山山頂周辺の落雷被害



堀田尾根の大モミ集団枯損

また、大悲願寺内の指定保存樹木のスギのように梢の白骨化による頂部枯損が顕著にみられる木々があります。理由として考えられるのは大気汚染で、特にスギはディーゼルの黒煙の粒状酸化物質に感受性が高く、都市部でのスギの枯損が拡大しています。このスギは、既に根株腐朽も見られますが、現在はディーゼル車の排気ガス規制も進められ、更に秋川橋と五日市橋により五日市街道がバイパス化されているため、汚染状況は改善されたと考えられます。同様の白骨化は小机林道から横沢入北尾根への入口のスギ、あきる野市から外れますが御岳神社の参道のスギなどで見られます。

平成22年度の踏査結果において、戸倉地区では光厳寺のヤマザクラや戸倉小学校のモミジなど、既存の保存樹木以外の大径木は確認されません

でした。沢や谷筋などで古木のケヤキやサクラの大株などを目にしますが、古い時代に薪炭用に切られて萌芽更新されて、根株は太いが4～6本立ちの主幹の細い木々をよく目にします。奥深い沢や谷の奥にも何度も切られた跡があるケヤキやサクラなどが見られるため、奥山にある炭窯跡同様にこれらの木々も、人々のかつての山での暮らしを知ることができる痕跡と言えますが、大木といえる形状とは違っていています。

同様に、菅生丘陵や秋川丘陵などのように、かつて薪山として利用されていた地区でも大径木は確認されませんでした。ただし、秋川丘陵の網代地区周辺の尾根（八王子側）にはモミの大径木が尾根植生としてわずかに残っています。

これまでの踏査では、沢筋と登山道が主なルートとなっており、林内での本格的な踏査を行っていないため、今後、これらの地域でも大径木を見つけることができるものと期待しています。



刈寄山周辺の株立ちの広葉樹林



馬頭刈尾根の株立ちのリュウブ



秋川丘陵のモミの大木



①	ヤマザクラ	⑪	エノキ	⑲	スギ
②	クリ	⑫	アカシデ	⑳	スギ
③	スギ	⑬	ヤマザクラ	㉑	ヒノキ
④	メタセコイア	⑭	スギ	㉒	スギ
⑤	モミ	⑮	ヤマザクラ	㉓	ヤマザクラ
⑥	スギ群落	⑯	モミ群落	㉔	モミ
⑦	スギ	⑰	スギ	㉕	スギ
⑧	タブノキ	⑱	クリ	㉖	スギ
⑨	モミ			㉗	スギ
⑩	ケヤキ			㉘	スギ

新たな巨木

今回、追加登録した巨木（基本的に胸高幹周 3m以上）については、⑲～㉘の 10 本にとどまっています。残念なことにほとんどの樹木が一般の登山者の目に触れることの少ない林内にあります。また、スギの巨木が境木として残してあるものが多く見つかりました。

スギでは樹齢 200 年前後かそれ以上と推察されものです。

地図からわかるようにスギの大径木は、比較的に人家に近いところのものが

多いことが分かります。これは、戦後の拡大造林までは用材生産として植林されていた山林は、比較的に関人に近い所で用材の搬出が容易な場所で林業が営まれていたと推察されます。

逆にヤマザクラなどは、切られても萌芽更新で再生する力が強いので、ヤマザクラが残っている場所は、かつて薪炭林として利用されていた場所だと考えられます。薪炭林と言っても、同一の条件では成立しない森林区分で、人里離れた場所や急峻山地においては「炭」が主な生産物で、山からの搬出を製炭することで重量を軽くしていたと言われます。また、薪については、製炭の手間はないが、重量がかさむため、里に近い場所で生産された林産物と言われます。このことから、サクラ類については、里地から奥山まで分布が広がっていることは、かつての利用と萌芽更新が旺盛なことで説明できます。

スギの巨木

スギの巨木が多くリストアップされています。このリスト以外にも五柱神社の大スギなど、あきる野には大径木のスギが沢山あります。スギは比較的湿潤な環境を好み、老齢木にはシラガゴケ科などが幹につき、森の主のような威厳を醸し出しています。ここで重要なのは、苔むしたスギで、これらのコケが生育する環境とスギが大径木に育つ環境が同一環境と言えることです。このシラガゴケ科の成育環境は、ヒシヤクゴケ科の様に極端な湿潤でもなく、適度な湿度があることが条件で、この条件を満たす環境でスギが巨木に育つと考えられます。あきる野の山林にはこのような環境が多くあり、杉の大径木が多く見られます。逆に、このシラガゴケ科がマット状に広がっている森は、100年後、200年後に大径木が育つ可能性が大きいと言えます。

★森の中のコケ

コケが広がってスポンジ状のマットが水分を蓄えて、適度な湿度が維持されて、植物の生育を助けると言われていますが、それ以外にもコケには森を育てる能力があります。樹木の幹に成育するコケは、樹幹流の流速を緩和して株元が洗われるのを防ぎ、表土流失を防ぎます。また、樹皮に溜まった老廃物をコケが分解して養分を含んだ雨水を株元に灌水するような役目があり、一般の雨水に比べてコケの中を流れる樹冠流の方が栄養分に富んでいます。

また、地表でマット状に広がるコケもエロージョン（浸食）の抑止や養分の供給を行い、森の生長を助けています。

①

樹種	地域	場所
ヤマザクラ	五日市 小中野 琴平神社	山道わき
現況	症状	樹勢
4本の株立ち 主幹が大きく傾いている	なし	良好
幹周	樹高	
胸高幹周 2. 8m	約 23m	

②

樹種	地域	場所
クリ	小宮 養沢 大岳沢登山道脇	スギ林
現況	症状	樹勢
株立ちの癒合で太くなっている	なし	少し根株腐朽あり
幹周	樹高	
胸高幹周 3. 25m	約 18m	

① ヤマザクラ



② クリ



③

樹種	地域	場所
スギ	小宮 落合 八幡神社	社寺林
現況	症状	樹勢
5 m の位置から立ち枝	立ち枝が多く、頂上で3本立ちになっている	すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周 5.43m	約45m	

④

樹種	地域	場所
メタセコイア	小宮 軍道 石原沢	住居跡
現況	症状	樹勢
—	戦後すぐに民家に植えられたもの	良好
幹周	樹高	
胸高幹周 2.88m	約35m	

③ スギ



④ メタセコイア



⑤

樹種	地域	場所
モミ	小宮 寺岡 光明山参道わき	山林
現況	症状	樹勢
尾根道わきの尾根植生	2.5m の位置から太い枝が出ている。(樹形の乱れ大)	良好
幹周	樹高	
胸高幹周4.65m	約25m	

⑥

樹種	地域	場所
スギ群落	小宮 軍道 光明山	山頂周辺
現況	症状	樹勢
落雷での枯損木多数 200年、300年生	心材腐朽(褐色腐朽菌類)	枯損木多し
幹周	樹高	
未測定	未確認	



⑤ モミ



⑥ スギ群落



⑦

樹種	地域	場所
スギ	小宮 養沢 横根道	横根峠
現況	症状	樹勢
3本立ちの大径木	長芽欠損での3本立ち	すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周 3. 87m	約45m	

⑧

樹種	地域	場所
タブノキ	小宮 養沢 横根道	横根峠
現況	症状	樹勢
大面積の樹冠を持つ	葉数が少々少ない	やや不良
幹周	樹高	
胸高幹周 2. 34m	約22m	

⑦ スギ



⑧ タブノキ



⑨

樹種	地域	場所
モミ	小宮 養沢 横根道	山林
現況	症状	樹勢
横根道わきの段上	大径木で単木直立だが葉両が少なく太い枝がない	2012年枯損
幹周	樹高	
胸高幹周4.8m	約45m	

⑩

樹種	地域	場所
ケヤキ	小宮 養沢 三合鍾乳洞	鍾乳洞入り口
現況	症状	樹勢
株立ち	大枝からの腐朽が下がっている	良好
幹周	樹高	
未測定	約18m	

⑨ モミ



⑩ ケヤキ



⑪

樹種	地域	場所
エノキ	増戸 横沢入 東北尾根	山林
現況	症状	樹勢
ツルのからみあり	林内のため樹冠が少々狭い	良好
幹周	樹高	
胸高幹周2.28m	約25m	

⑫

樹種	地域	場所
アカシデ	多西 菅生 市有林	雑木林
現況	症状	樹勢
根株腐朽あり	なし	やや良好
幹周	樹高	
胸高幹周2.78m	約25m	

⑪ エノキ



⑫ アカシデ



⑬

樹種	地域	場所
ヤマザクラ	五日市 樽 樽の北尾根	尾根道
現況	症状	樹勢
1本立ち	枝が少ない	やや良好
幹周	樹高	
胸高幹周2.5m(目測)	約18m	

⑭

樹種	地域	場所
スギ	五日市 深沢 北尾根	山林
現況	症状	樹勢
2本立ちの癒合株	北側の主幹で梢に故損あり	すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周7.8m	約45m	

⑬ ヤマザクラ



⑭ スギ



⑮

樹種	地域	場所
ヤマザクラ	五日市 深沢 深沢北尾根	雑木林
現況	症状	樹勢
6本の株立ち	周りの雑木が大刈りされている	やや良好
幹周	樹高	
胸高幹周5.8m	約20m	

⑯

樹種	地域	場所
モミ群落	五日市 深沢 堀田尾根	山林
現況	症状	樹勢
枯損木	集団故損	枯損
幹周	樹高	
未確認	未確認	

⑮ ヤマザクラ



⑯モミ群落（枯損）



⑰

樹種	地域	場所
スギ	深沢 小机 横沢入 北尾根入口	山林
現況	症状	樹勢
境木	頂上1/3枯損 白骨化 (大気汚染が原因か)	やや不良
幹周	樹高	
胸高幹周2.83m	約30m	

⑱

樹種	地域	場所
クリ	小宮 養沢 サルギ尾根	痩せ尾根
現況	症状	樹勢
尾根で30°の傾き	樹高は低いが枯れ枝が少ない	良好
幹周	樹高	
胸高幹周2.6m	約12m	

⑰ スギ



⑱ クリ



①9

樹種	地域	場所
スギ	深沢	山林
現況	症状	樹勢
古い境木		すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周2.82m	40m	

②0

樹種	地域	場所
スギ	深沢	山林
現況	症状	樹勢
古い境木		すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周3.27m	45m	

①9スギ



②0スギ



⑳

樹種	地域	場所
ヒノキ	乙津	山林
現況	症状	樹勢
古い境木		すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周3.5m	45m	

㉑

樹種	地域	場所
スギ	養沢	沢沿い
現況	症状	樹勢
若齢林脇		すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周3.37m	45m	

㉑ヒノキ



㉑スギ



⑳

樹種	地域	場所
ヤマザクラ	寺岡	寺岡共有林
現況	症状	樹勢
モミとの共生	モミを巻き込んでいる	樹冠閉鎖
幹周	樹高	
胸高幹周2.89m	25m	

㉑

樹種	地域	場所
モミ	養沢	尾根
現況	症状	樹勢
尾根に残った古木		良好
幹周	樹高	
胸高幹周3.0m	30m	

㉑ヤマザクラ



㉑モミ



㊦

樹種	地域	場所
スギ	星竹	沢沿い
現況	症状	樹勢
林内で単木で残った		すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周5.4m	45m	

㊧

樹種	地域	場所
スギ	星竹	林内
現況	症状	樹勢
単木で残った古木		すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周3.2m	40m	

㊦スギ



㊧スギ



㉗

樹種	地域	場所
スギ	星竹	山林内
現況	症状	樹勢
山腹の境木		すこぶる良好
幹周	樹高	
胸高幹周4.0m	45m	

㉘

樹種	地域	場所
スギ	落合	神社
現況	症状	樹勢
	主幹の欠損あり	良好
幹周	樹高	
胸高幹周4.8m	45m	

㉗スギ



㉘スギ



※ 特記

深沢の「山抱きの大欅（カシ）」は大変見事で、石灰岩の露岩上に勇壮な姿を見せています。この木は、初めから露岩の上に生育したものではなく、長い年月をかけた表土流亡で露岩の上に取り残された姿だと考えられます。

次の写真の木は、深沢、堀田尾根のアジサイ山からの登り口にあるウラジロカシですが、岩の上に根を張りヒコバエが出ています。まだ木は細いのですが、直立したヒコバエが多数出ており、十数年後には主幹に癒合すると思われます。

ヒコバエが癒合することで主幹は極端に太くなり、大径木に育つと考えられます。また、地表の表土が雨水などで流亡すると、深沢の「山抱きの大欅」と同様に露岩上に取り残されると考えられます。その時間は、100年単位のことになりますが、確実に第二の「大欅」が育っていると考えられます。未来のあきる野の遺産になることでしょう。



この辺りは、東京都の天然記念物に指定されている「南沢・鳥の巣石灰岩産地」の露岩が見られる地域であり、同様に岩の岩盤上に育っている木々を目にすることができます。